

天理市では、天理市子育て世代すこやか支援センター「はぐ〜る」をはじめ、ほか民間4施設の「地域子育て支援拠点」があり、充実しています。また「子育てサークル」に対して積極的に支援することによって、地域のネットワーク構築の促進をしています。今後、子育て世帯が安心できる環境を市全体で確保していき、子育てにおける孤立、いわゆる「孤育て」を解消していきます。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲7.3% (▲6.2%)	11位	+1.1% (▲2.1%)	6位	▲8.4% (▲4.1%)	20位

②合計特殊出生率

H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減	③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
			H27年	順位
1.36 (1.29)	7位	+0.04 (+0.06)	91.0 (74.4)	3位

④出生数(人)

H30年	⑤年少人口割合(15歳未満)		
	H30年10月	順位	対25年10月増減
473 (8,947)	12.3% (12.0%)	8位	▲0.8ポイント (▲0.7ポイント)

⑥子育て世代割合(25～44歳)

H30年10月	順位	対25年10月増減
21.6% (20.7%)	9位	▲3.4ポイント (▲3.8ポイント)

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 「地域子育て支援拠点」や「子育てサークル」などへの支援に取り組んでいるが、横のつながりがまだ希薄で、地域全体の子育てネットワークの構築には至っていないことが課題。
- ② 各種親子教室などイベントを開催しているが、より幅広く周知していくことが課題。
- ③ 待機児童の解消・保育施設の老朽化への対応が課題。
- ④ 児童虐待の未然防止のために、保健センターや家庭児童相談室他各機関とで密に情報共有し、特に気になる家庭に対しては必要に応じて同行訪問するなど連携をとっている。また、要保護児童対策地域協議会を開催し、県や警察等とも情報共有することで各機関との連携強化を図っている。今後は2022年までに子ども家庭総合支援拠点を設置することが課題。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① すべての子どもが夢を持ち、いきいきと育つまち
- ② 安心して子どもを産み育てられるまち
- ③ 地域社会で子どもと家庭を支えるまち

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 心身ともに不安定になりやすい妊娠期から出産4ヵ月ごろまでの周産期において、ドゥーラがベビーサロンを通じて相談や情報提供を行い、サポートしている。
- ② 子育て世代に切れ目ない一貫した支援を行う「はぐ〜る」では、地域の育児力向上のため、年齢別の子育て教室や離乳食教室等の各種講座を開催している。また、自由に利用できる交流の場を提供し、親子同士の交流を促進している。さらに、「子育てコーディネーター」を配置することで、気軽に育児に関する相談ができる環境を整え、親の不安・悩みの解消につなげている。
- ③ 地域のNPO法人に子育てネットワークの充実化促進イベント業務を委託し、「BABYフェス&こども縁日」を開催。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 地域の子育てネットワーク構築を目指し、「子育てサークル」を、最も身近で参加しやすい子育て支援団体として、また、子育て世代の孤立を解消し、支え合える関係を創るパートナーとして捉え、補助金を増額するなど支援している。
- ② 地域主体の子ども食堂が市内10カ所で開催され、子どもと地域住民による交流や子育てサロンなど様々な役割を担っている。
- ③ 子ども達の学びと地域の活動を繋ぎ合わせ、「町の力」で子ども達を育てることを目的に、地域と学校が協働で公民館を利用した放課後学習塾「町力(マチカ塾)」を定期的に開催。